

まちづくりの方針

方針1 賑わいがあふれるウォーカブルなまちづくり

リニア開業を控えた名古屋駅前に近接する名駅南は、北方面は柳橋等の地域資源に隣接し、西方面はささしまライブ24を通じて中川運河とつながるとともに、東方面は堀川を挟んで栄・大須方面とつながるなど、名古屋駅東側の回遊の要として、都心部の利便性や様々な魅力的な都市空間を享受できる場所です。

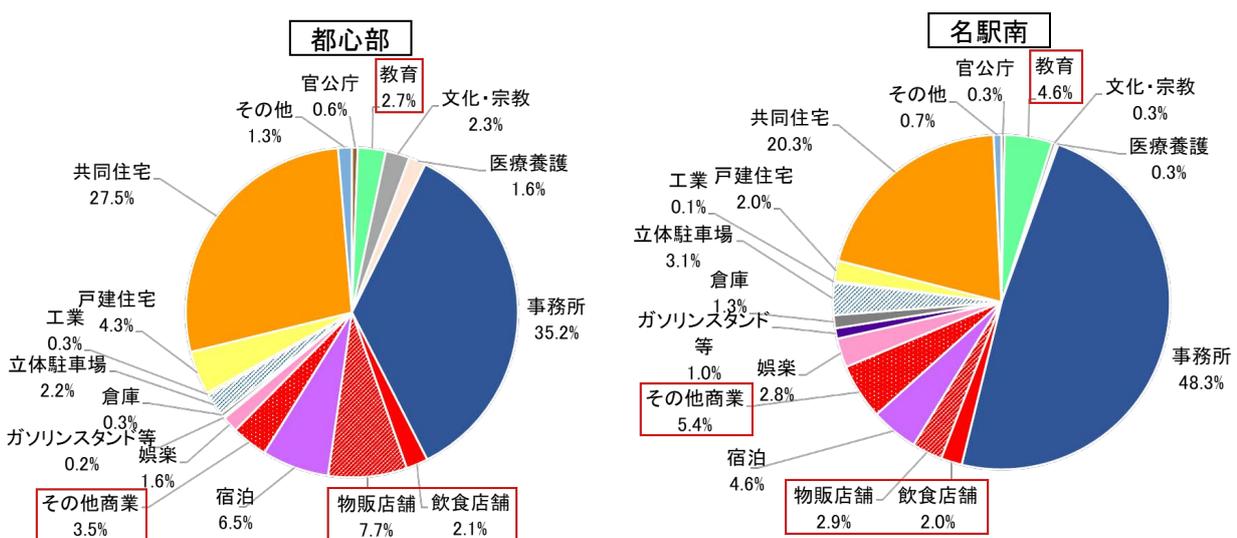
地区内に立地する建物用途をみると、事務所が過半数を占め、近年では共同住宅が増加傾向にある中、物販・飲食店舗などの商業施設は、都心部平均（約13%）より低い水準（約10%）にあるため、生活利便施設等の充実が必要な状況となっています。

一方で、名駅南の道路率（約38%）は、都心部の道路率（約33%）と比べ、高い水準にあり、令和2（2020）年度からはコロナ特例（道路占用許可）を活用し、飲食店舗前の歩道でテラス営業が実施されるなど、今後も沿道の店舗等と一体となった、道路空間の多様な活用による取り組みが期待されています。

そこで今後は、地区の住民やワーカー、来訪者にとって、安心・安全な道路空間を確保するとともに、周辺の魅力的な地域と連携した交流の促進に向け、道路空間と公園空間と民地空間が一体となった賑わいあふれる歩行者空間や居心地の良い滞在空間を創出し、ウォーカブルな（居心地が良く、歩きたくなる）空間への転換を進めていきます。

具体的には、「開発促進重点エリア」や「沿道活性化エリア」を中心に、歩行者空間の拡充・改善や、道路空間・公園空間・民地空間（公開空地・低未利用土地）の活用等により、賑わいがあふれるウォーカブルなまちを目指していきます。

■現況データ



（資料：名古屋市都市計画基礎調査を基に作成）

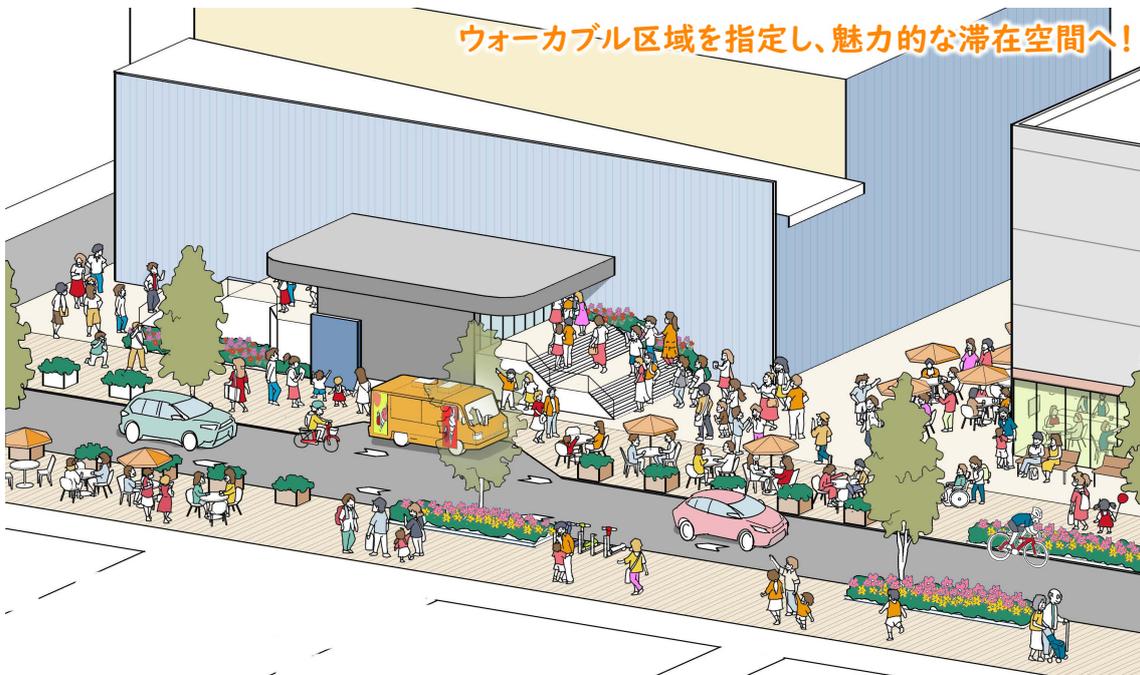
都心部と名駅南地区との建物主要用途別延床面積構成比の比較（2021年）

■取り組み一覧

方針1に係る取り組み一覧

施策	取り組み例
安心・安全な 道路空間の確保	歩行者空間の拡充・改善 (自転車駐車場の移設・集約、バリアフリー化等)
	自転車の走行空間の明示
賑わいあふれる 歩行者空間の創出	道路空間・公園空間・民地空間(公開空地・低未利用土地)の活用 (マルシェ・キッチンカー・オープンカフェ・パークレット・ベンチ・ゲートサイン等の設置)
	建物リノベーションの促進 (空き物件の活用)
	建物低層部のオープン化やセットバックの促進
居心地が良い 滞在空間の創出	道路空間・民地空間の緑化 (街路樹・花壇・植栽等の設置)
	六反公園・祢宜公園の活用

各種施策の推進に向け、「まちなかウォーカブル区域」を指定するとともに、「歩行者利便増進道路(ほこみち)」等の各種制度の活用を検討します。



ウォーカブル区域を指定し、魅力的な滞在空間へ!

道路と民地とを一体的に滞在空間として活用し、賑わいが創出

方針 2 公民の投資により再生するまちづくり

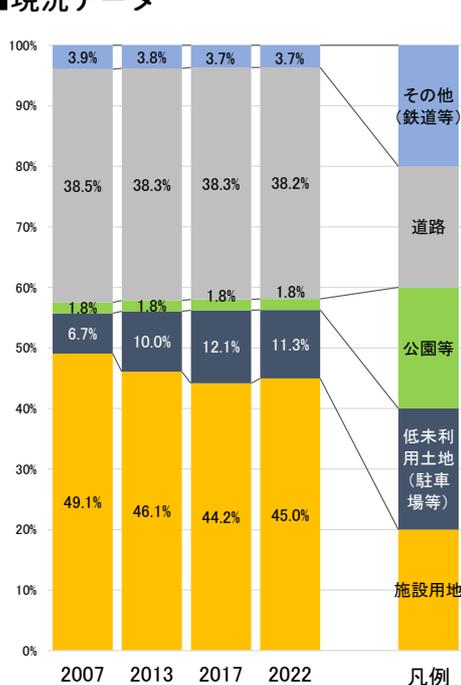
名駅南では、名駅通や下広井町線等の広幅員道路により、まちが分断され、近接する名古屋駅前等の周辺地区との歩行アクセスに制約があり、また、バス以外にアクセスできる公共交通がない中で、ささしまライブ24とつながる新たな道路や名古屋高速道路の新たな出入口等の基盤整備が予定されています。

名駅南の建物用途や土地利用の推移をみると、昨今では大型分譲マンションの建設やホテルの立地が進む一方で、流通業務機能に係る事務所が減少傾向にあり、駐車場等の低未利用土地の割合も約11%と都心部平均（約9%）より高いなど、土地の有効活用・高度利用が十分図られていない状況にあります。

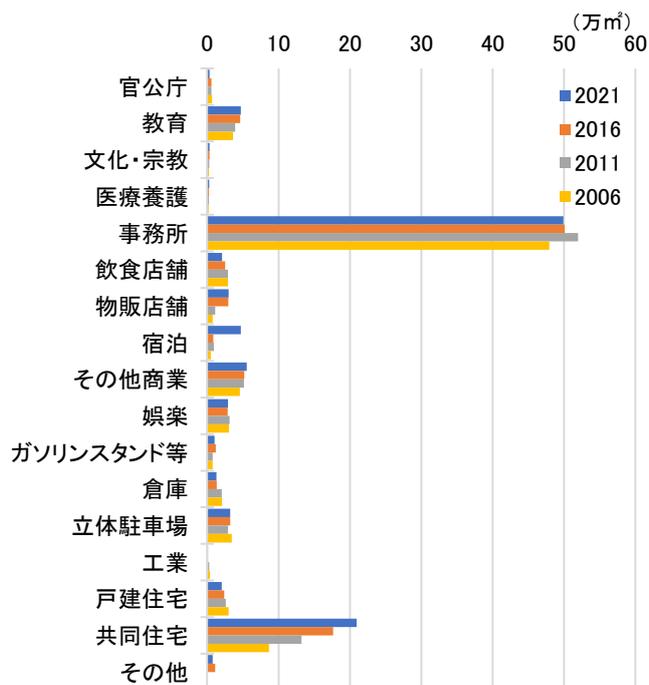
そこで今後は、増加が見込まれる居住者の住環境や来訪者の歩行環境に配慮しながら、ウォークラブルな取り組みを支える交通機能を強化し、土地の高度利用・都市機能の集積に向けて、低未利用土地等におけるまちの魅力向上につながる暫定活用や、民間開発に合わせた建物低層部の店舗化などの民間活力を活かしてまちの賑わいを強化するとともに、大規模地震に備えた災害対策機能を強化し、まちを再生する取り組みを進めていきます。

具体的には、（仮称）名駅南通（笹島線東側区間）や下広井町線等において、都市計画道路の整備・活用を進めます。また、「開発促進重点エリア」を中心に、都市計画制度等の活用による民間開発の支援を行うとともに、六反公園等での防災施設の設置や地区全体での退避施設等の拡充を行い、公民の投資により再生するまちづくりを目指していきます。

■現況データ



（資料：名古屋市都市計画基礎調査を基に作成）
名駅南地区の土地利用の推移



（資料：名古屋市都市計画基礎調査を基に作成）
名駅南地区の建物主要用途別延床面積の推移

■取り組み一覧

方針2に係る取り組み一覧

施策	取り組み例
ウォーカブルな 取り組みを支える 交通機能の強化	都市計画道路の整備 (笹島線東側区間・名古屋高速新洲崎出入口の整備)
	都市計画道路の活用 (笹島線の歩道・名古屋高速の高架下空間の活用)
	アクセス改善 (SRTの導入、横断機能の強化、名古屋駅周辺地下公共空間・ 集約自転車駐車場等の整備)
民間活力を活かした 賑わいの強化	交通機能の強化による民間開発の誘導
	民地空間(公開空地・低未利用土地)の活用、 建物低層部の店舗化
	都市計画制度等の活用による民間開発の支援
大規模地震に備えた 災害対策機能の強化	六反公園等への防災施設の設置
	都市再生安全確保計画の推進(退避施設等の拡充)

施策の推進に向け、「名古屋駅・伏見・栄地区都市機能誘導制度」等の各種都市計画制度等を活用していきます。



新たな道路整備とともに沿道が高度利用され、まちが活性化

方針 3 新たな体験を誘発し様々な挑戦を支える

クリエイティブなまちづくり

名駅南では、令和2（2020）年10月、令和4（2022）年9月に名古屋駅～栄間（広小路通を經由）で新たな路面公共システム（SRT）の導入に向けた連節バス等の社会実験が実施されるとともに、愛知県が令和4（2022）年9月に名駅南～栄南地区間（三蔵通を經由）で自動運転バスの実証実験を実施するなど、先進的な取り組みの社会実験の場として活用されています。

また、名駅南地区まちづくり協議会においても、クリエイティブなまちを目指す「クリエイティブチャレンジ」等が実施されており、クリばこや衾宜公園等を舞台に音楽演奏やダンス、演劇などクリエイティブな取り組みが行われています。

一方でこうした取り組みは、社会実験として不定期の開催であり、開催場所が地区全体に面的に広がっていない状況にあるとともに、社会実験やクリエイティブな活動を円滑に実施するための枠組みが十分構築されているとはいえない状況にあります。

そこで今後は、リニア効果を高めるクリエイティブ拠点としての再生に向け、市民が体感できる社会実験の場を提供するとともに、クリエイティブ人材が集まる仕掛けづくりを促進しつつ、クリエイティブをテーマとしたイベント実施を促進し、クリエイティブな活動を支え、発信していきます。

具体的には、「沿道活性化エリア」を中心に、道路空間等を活用した社会実験の実施や、スタートアップ・ベンチャー企業の集積、「クリエイティブチャレンジ」等のクリエイティブ活動の継続・発展等により、新たな体験を誘発し、様々な挑戦を支えるクリエイティブなまちを目指していきます。

■名駅南で実施された社会実験等の取り組み



自動運転実証実験（R4.9 実施）



SRT 導入に向けた社会実験
（R4.9 実施）



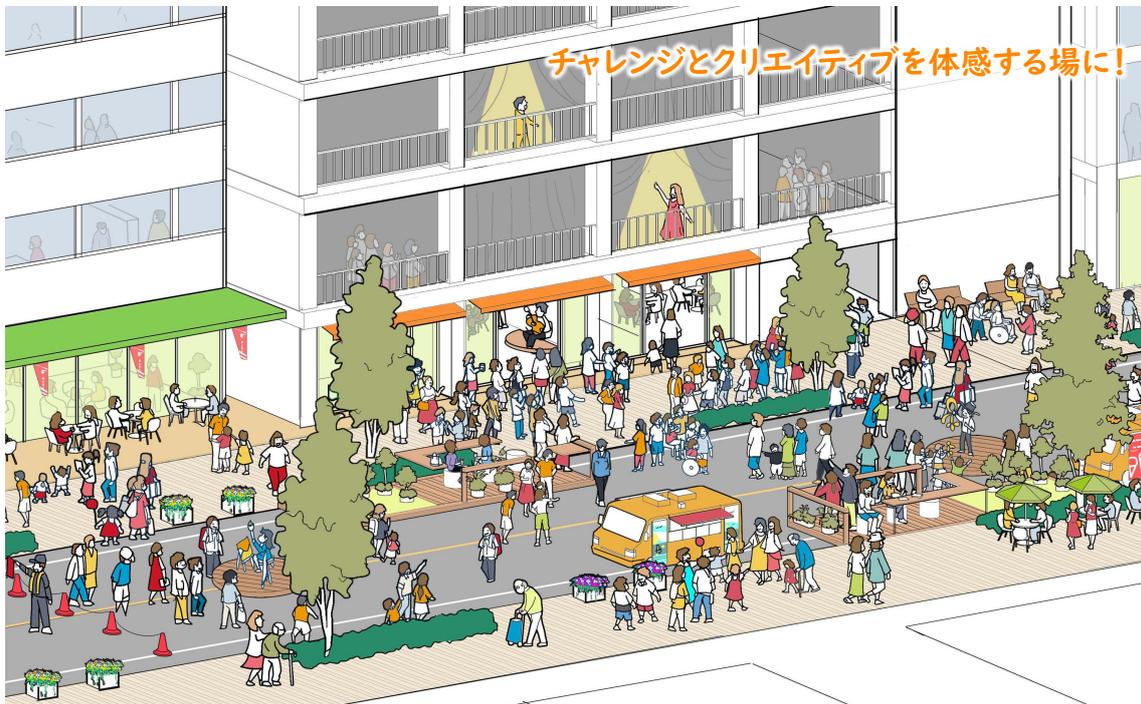
クリエイティブチャレンジ（R5.3 開催）

■取り組み一覧

方針3に係る取り組み一覧

施策	取り組み例
市民が体感できる 社会実験の場の提供	道路空間を活用した社会実験の実施 (自転車の走行空間の明示、パークレット等の設置)
	最先端モビリティの試走
	六反公園・祢宜公園を活用した社会実験の実施 (キッチンカー・多機能什器等の設置)
クリエイティブ人材が集まる 仕掛けづくりの促進	スタートアップ・ベンチャー企業の集積
	既存施設の活用の支援
クリエイティブをテーマとした イベント実施を促進	「クリエイティブチャレンジ」等のクリエイティブ活動の 継続・発展
	円滑なイベント活動の実施に必要な手続きの標準化

施策の推進に向け、「スタートアップ等まちなか実証推進事業」等の各種制度を活用の検討を進めています。



まち全体が社会実験の場となり、クリエイティブ人材が集まり、イベントなどの活動が継続実施

方針 4 地域の力で地域を育てるまちづくり

名駅南では、六反学区などが主体となって、六反公園での花飾り活動や盆踊り、山車行事などの活動が継続的に展開されています。

加えて、名駅南地区まちづくり協議会においても、まちの清掃活動やハンギングバスケットの設置などのエリアマネジメント活動が展開されており、令和4（2022）年度には、新たに称宜公園の活用に関する社会実験や名駅南まち歩き MAP の作成が実施されました。

こうした取り組みが行われている中、名駅南は、20代、30代の人口比率が全市平均よりも高く、単身世帯が多いといった特徴があるものの、新しい住民のエリアマネジメント活動や町内会活動といった地域活動への参加が少なく、一部の町内会では担い手不足により活動維持が厳しい状況にあります。

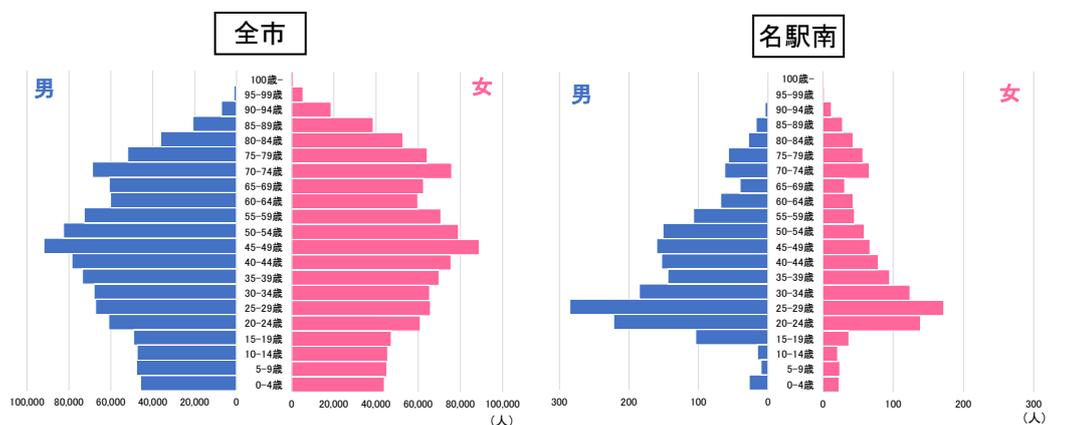
また地区内には、緑豊かな六反公園などの都市公園、史跡・社寺、旧街道などの歴史的資源がありますが、地区の特色やイメージがわきにくい状況です。

そのため、新しい住民の地域活動への参画により、地域コミュニティを活性化しながら、若者の多い地域の特色を活かした名駅南ならではのイメージを育て、地域に関わる人々が共にシビックプライドを醸成・共有していくことが必要であり、更には、地域外へも名駅南の魅力を広く発信し、その認知や交流をさらに深め、当地域で活動してもらうという持続的な好循環を促進することが課題となっています。

そこで今後は、名駅南の魅力発信につながる様々な地域活動の持続的な好循環に向け、新旧住民や企業、学生などの多様な主体の顔が見える関係の構築を促進するとともに、伝統から最先端まで新旧織りなす地域の個性を活かしたブランディングを促進し、地域の力で地域を育てる取り組みを進めていきます。

具体的には、地区全体において、多様な主体（学区・まちづくり協議会・大学・専門学校等）が連携した取り組みの実施や、地域活動の連携の強化等により、地域の力で地域を育てるまちを目指していきます。

■現況データ



(資料：2020年国勢調査を基に作成)

名古屋市と名駅南地区との男女別・年齢別人口構成の比較（2020年）

■取り組み一覧

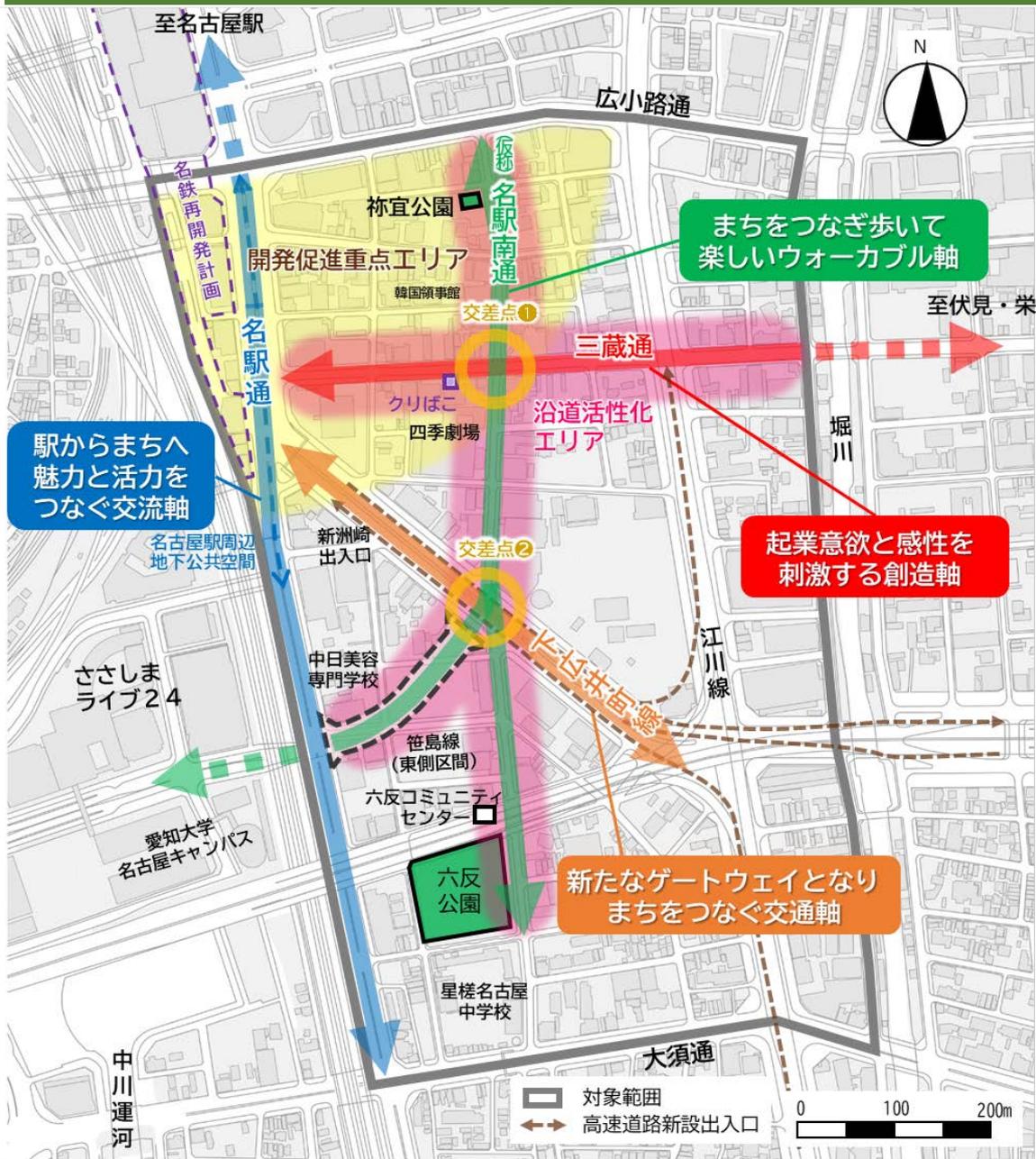
方針4に係る取り組み一覧

施策	取り組み例
多様な主体の顔が見える 関係の構築を促進	多様な主体（学区・まちづくり協議会・大学・専門学校等） が連携した取り組みの実施
	地域の交流拠点としての取り組みの強化 （六反公園・祢宜公園の活用）
伝統から最先端まで 新旧織りなす地域の個性を 活かしたブランディングを促進	地域活動の連携の強化 （山車行事・花飾り活動・クリエイティブチャレンジ等の アート活動等）
	新旧住民等の参加を促す取り組みの実施 （食をテーマとしたイベントの実施等）
	地域活動の情報発信



公園などを拠点に、地域の多様な主体が地域活動へ参加し、
連携したまちづくりが実施

まちづくりの展開イメージ



まちづくりを展開する中心的なエリア

- 開発促進重点エリア** 名駅南の玄関口として、名古屋駅からの来街者を迎え入れ、開発ポテンシャルをまちへ波及させるエリア
- 沿道活性化エリア** 名駅南のメインストリートとして、交流や創造的な活動を促し、ウォーカブルなまちづくりを先導するエリア

主な道路・交差点

- ↔ (仮称) **名駅南通** まちをつなぎ歩いて楽しいウォーカブル軸
- ↔ **三蔵通** 起業意欲と感性を刺激する創造軸
- ↔ **下広井町線** 新たなゲートウェイとなりまちをつなぐ交通軸
- ↔ **名駅通** 駅からまちへ魅力と活力をつなぐ交流軸
- **交差点①** << (仮称) 名駅南通 × 三蔵通 >>
- **交差点②** << (仮称) 名駅南通 × 下広井町線 >>

(1) まちづくりを展開する中心的なエリア

開発促進重点エリア

名駅南の玄関口として、名古屋駅からの来街者を迎え入れ、開発ポテンシャルをまちへ波及させるエリアで、名古屋駅前にふさわしい土地の高度利用と都市機能の集積により、国際的・広域的な拠点形成を図ります。

【取り組み例】

- ・都市計画法に基づく各種容積率割増制度等を活用した民間再開発事業の促進
- ・市街地再開発事業等による事業支援



土地の高度利用とともに、建物低層部の店舗化やオープンスペースの創出を促進

沿道活性化エリア

名駅南のメインストリートとして、交流や創造的な活動を促し、ウォーカブルなまちづくりを先導するエリアで、三蔵通や(仮称)名駅南通を中心に、道路空間や公園、民地などの一体的な活用や緑化を推進するなど、安心・安全な、快適で魅力ある沿道の形成を図ります。

【取り組み例】

- ・「まちなかウォーカブル区域」の指定に基づく各種特例制度の活用等により、交流・滞在空間の充実を促進



道路・公園・民地空間を活用し、交流・滞在空間を充実

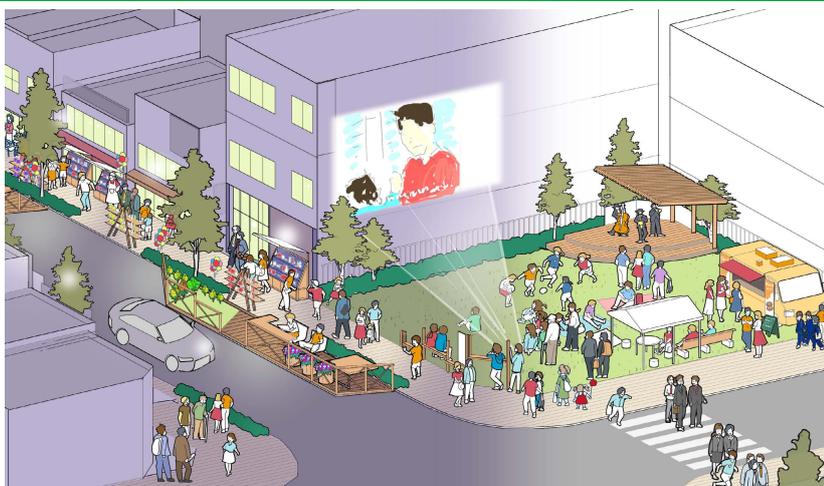
(2) 主な道路・交差点の空間再生イメージ

(仮称) 名駅南通

～まちをつなぎ歩いて楽しいウォーカブル軸～

沿道店舗の魅力創出や様々な仕掛けによる賑わい創出などにより、名駅南のメインストリートとしてふさわしい、歩いて楽しいウォーカブルな空間をつくりま

す。また、名駅南とささしまライブ24とを結ぶメインストリートとして、両地区を若者、ワーカーなど多様な人が行き来する通りをつくりま



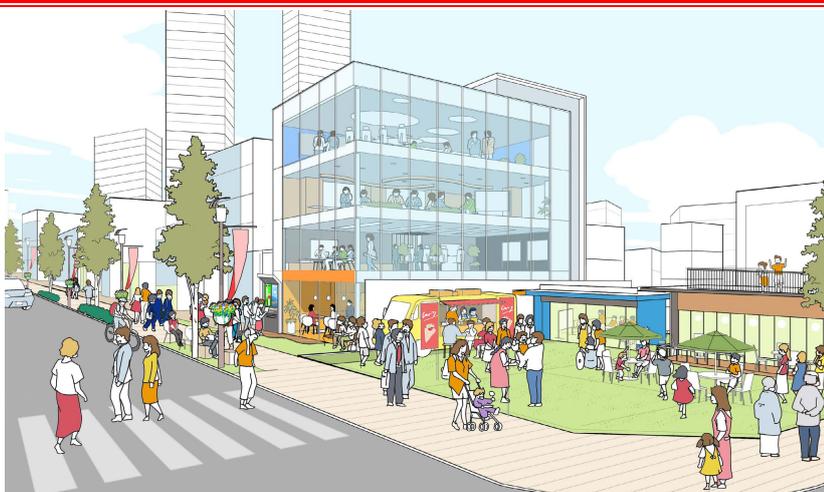
【取り組み例】

- ・オープンカフェ・パークレット・ベンチの設置
- ・自転車の走行空間の明示（社会実験）
- ・祢宜公園・六反公園の活用
- ・笹島線東側区間の整備・活用など

三蔵通

～起業意欲と感性を刺激する創造軸～

都心部の主要なビジネス拠点を結ぶ通りとして、起業意欲を促し、クリエイティブな人々を刺激し、挑戦を支える創造性豊かな雰囲気をつくりま



【取り組み例】

- ・オープンカフェ・パークレット・ベンチの設置
- ・自転車の走行空間の明示（社会実験）
- ・低未利用土地の暫定活用
- ・クリエイティブチャレンジ等のクリエイティブ活動
- ・スタートアップ・ベンチャー企業の集積

など

交差点① ≪ (仮称) 名駅南通 × 三蔵通 ≫

まちの賑わいや創造性豊かなアクティビティを誘発する、ウォーカブルなまちの象徴となる空間をつくりま

【取り組み例】

- ・パークレット・ベンチの設置
- ・ゲートサイン・花壇の設置

など

下広井町線 ～新たなゲートウェイとなりまちをつなぐ交通軸～

名古屋高速道路（新洲崎出入口）の新設により、広域から名古屋駅への新たなゲートウェイとなるとともに、地域のつながりや交流を深める回遊性の高い歩行空間形成や緑豊かな景観形成などにより、自動車アクセスの空間と歩行者や自転車をはじめとする多様な交通モードの空間との両立を図ります。



名古屋高速新洲崎出入口の完成イメージ

【取り組み例】

- ・名古屋高速道路（新洲崎出入口）を沿道景観に配慮しながら整備 など

交差点② ≪（仮称）名駅南通×下広井町線≫

高架下の有効活用により、居心地が良く、地区間の回遊を促すゲートウェイとなる空間をつくります。



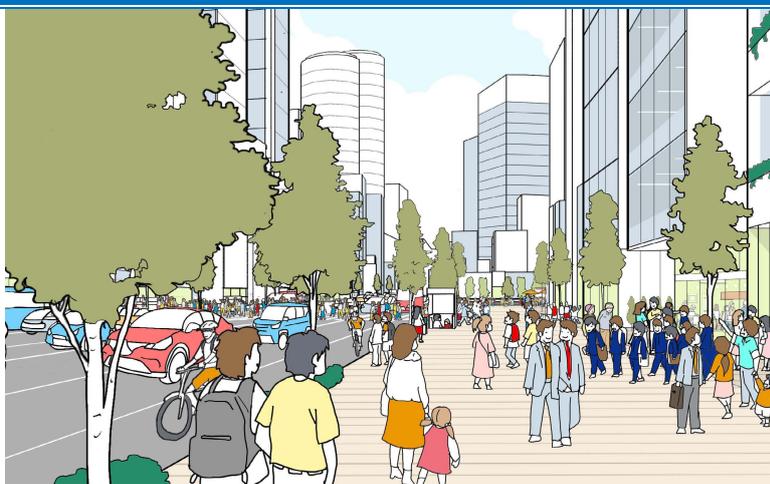
【取り組み例】

- ・高架下に緑のあるたまり空間を確保
- ・シェアサイクルポートの設置
- ・ゲートサイン・花壇の設置 など

名駅通

～駅からまちへ魅力と活力をつなぐ交流軸～

名古屋駅の駅前と名駅南・ささしまライブ24をつなぐとともに、名古屋駅と広域をつなぐ通りとして、歩行者の回遊や交流を促進する快適でゆとりある空間と自動車アクセスの空間との両立を図ります。



【取り組み例】

- ・自転車駐車場の移設
- ・アクセス改善（横断機能の強化、名古屋駅周辺地下公共空間・集約自転車駐車場等の整備）など